

かわらばん ほっと

2020-1 Vol.84



第 64 回ほっとクラブ（令和元年 11 月 20 日）

目 次

新年のご挨拶（谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長、小林靖典理事長）	2
青年部活動報告（西健一青年部長）	4
「ほっとクラブ」（第 6 1 回～第 6 4 回）の活動報告	6
「ほっと NEWS」	8
「企業見学会」	9
「組合員訪問」	10



石川県知事 谷本 正 憲

「石川県の産業のさらなる成長と企業の競争力強化に向けて」

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これまで磨き上げてきた石川の魅力を国内外に発信するとともに、「第二の開業」とも云える令和5年春の新幹線県内全線開業に向けて準備を加速させていく、大変大事な1年になると考えています。

県内の景気は、海外経済の減速により速度を落としながらも、新幹線開業効果の持続や中小企業の頑張りにより緩やかな拡大基調が続いているとのことです。

本県経済を持続・発展させていくため、新製品・新技術開発や販路開拓、生産性向上などに取り組む県内企業をしっかりと後押しするとともに、人手不足対策にもしっかりと取り組んでまいります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



金沢市長 山野 之 義

「年頭に当たって」

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より市政の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、日本に多くの関心が寄せられる年となります。これを絶好の機会と捉え、地域経済の活性化に全力で取り組んでまいります。

本市としては、令和3年春開設予定の価値創造拠点の整備を進めるほか、産学官の叡智を融合した新産業の創出や第4次産業革命への対応、労働生産性の向上や多様な人材の活躍促進にも積極的に取り組んでいるところであります。

また、ものづくり産業を集積するため、工業団地の拡張整備を迅速に進めるとともに、グローバル化に向けては、技術開発や製品改良、戦略的な販路開拓への支援を行い、中小企業の持続的な成長・発展に尽力してまいります。

結びに、本年が貴組合及び組合員の皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



北陸鉄工協同組合 理事長 小林 靖典

新年あけましておめでとうございます。新しい年号での初めての新年となりました。多くの変化が起こる年号で、新しい情報化の時代の始まりではないかと思っています。

世界的にも異常気象が起きていて、日本はその対策で様々な動きが今年あるでしょう。2020年の夏には東京オリンピックも開催され、このような世界的なイベントを日本で開催できることを嬉しく思います。

さて我々鉄工業界では、これもまた働き方改革や外国人研修制度の見直し、人手不足や景気の減退など数多くの問題を抱えています。これらの問題をどのように解決していくかという事はとても重要なことだと思います。私も色々考えてみたのですが、答えは「生産性の向上」という事しか見えてこないです。AIやロボットなどの新しい技術を活用して、生産体制を整えていきたいと思っています。

このような年ですが新しい動きも始まっています。自動車の自動運転技術も格段に向上するとともに、電気自動車化が進み自動車業界は大きく変化・発展するでしょう。同時に携帯電話の技術も5Gがすぐそこまで来ていて、今年の後半からは更に動きが活発化し、経済も好転していくでしょう。アメリカは本来景気後退期に入っているのですが、それをごまかすために色々画策しているように見えます。でもそうしているうちに景気も回復方向に向かっていって欲しいと期待しています。

こうした大きな変化の中にあって、私たち北陸鉄工協同組合では「ほっとクラブ」を通じて、同じ問題を抱えている人たちが集まり、問題を語り合うことで多方面からの視点をもって問題解決していくことができます。皆で知恵を出し合い、「変化に答えを出す」こともできるのです。以前にも書きましたが、私は「ほっとクラブ」に参加して、「原点は人、そのつながりの中から得られる気づきや考えを学び、変化の時代に自分も周りの人たちとともに成長したい」と感じています。これからの時代は自動化革命が重要ですが、それ以上に人の心革命が重要になってきます。現実を正しく見つめる心を持つこと、そしてこれらの経験の積み重ねが、変化に対応する能力を付け、結果会社を良い方向に向かわせることができ、より良い日本を創っていくのだと思うのです。また北陸鉄工協同組合は、そのような組合にしていきたいと思っています。

今年2020年はこれからの激変する2030年に向けての変化のスタートの年です。守らなければいけない事はしっかり守り、変えていかなければいけない事をしっかりと捉えて、それに向けて進んで行きたいです。

最後になりますが北陸鉄工協同組合の皆様が本年も益々ご発展することをお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

青年部視察研修報告

青年部部長 西 健一



- 【視察先】 未来工業株式会社
- 【視察日】 2019年11月22日(金)
- 【所在地】 本社大垣工場(午前)・垂井工場(午後)
- 【目的】 働き方改革の最先端を知る

いつもお世話になっております。日頃は青年部に格別のご高配を頂いておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

今年度の研修旅行ですが11月22日～23日に岐阜県大垣市に本社があるVF管やPF管など電気工事にかかせない電材のメーカーである未来工業株式会社に行って日本一のホワイト企業と言われる未来工業さんの取組みを肌で感じてきました。

社内に入ってまず目に入ったのが至るところに掲示してある『常に考える』の看板や掲示、昔から提案制度が確立されているようで提案1件につき500円の報酬、前年度の年間最多者は200件の提案をされて表彰するというか10万円プラスαをゲットされたそうです。

『常に考える』は社風となり未来工業さんものづくりに生かされているとのことで、例えばドライバーのグリップのところにプラスドライバーには凸で『+』、マイナスドライバーには凹で『-』となっていて腰袋に入っているドライバーを見なくても触るだけで判別して持つことができるというユーザーへの配慮をされているとのことです。

また壁に隠蔽のスライドボックスにビスを付属、しかもそのビスをスライドボックスに対して垂直ではなく斜めに取付けしてあり、ユーザーが施工しやすいように配慮がされているとのことです

年間休日143日！ 休みが多すぎてユーザー泣かせな未来工業さんですが社員のためではなく、日本一の年間休日を目指しているわけでもなく意地でされているとのことでした。その源は『社員のやる気をつぶさない』『やる気を引き出す』『社員の内から秘めるパワーを引き出す』だそうです。

今回奇跡的にも社長さんにお話を聞くことができたのですが、そんな山田社長の語録を私なりにまとめてみました。

- 普通に作った1個100円のアンパンと残業をして作った1個125円のアンパン、どっちが売れる？1個100円に決まっている。 残業までして作って売るものではない。利益とはそういうもの。
- 利益を上げるにはスタッフの内なるパワーを引き出す。そのためにはいろいろな仕掛けを創っている。(コレはすごいと思ったのはフォトコンテストを開催、1位の商品は会社創業権利、2位の商品は有給365日付与)
- 『小さな節約、大きな浪費』→意味不明だったのですが日頃いろいろなアイデアを出しながら生産性を高め、利益を出しながらコツコツ節約して5年毎の全社員の海外旅行で大きな浪費をするという趣意になるほど納得しました。

今回ご好意でたまたまお話を聴くことができた山田社長様、かなり豪快でフレンドリーな印象、履かれていたシューズがナイキのエアジョーダンでした。未来工業さんは作業服に決まりがないそうで帽子さえ被って、ケガをしないような服装であればなんでもOKだそうです。

自由闊達な中にあっても常に考えながらの仕事に取り組んでいる社員のみなさんの考動、そしてその社員のみなさんが楽しみながら働くことができるように仕組みを創りあげて実践されている未来工業さんへの工場見学は得るものが多々ありました。

今年から始まっている働き方改革による有休取得義務や来年から本格的に始まる残業時間規制ですが制度や形に囚われることなく、自然にそのようになっていく環境づくりが肝要だと思いました。今回の研修旅行に参加されたみなさんには感謝申し上げますと共に今後も青年部を何卒よろしくお願い申し上げます。



ほっとクラブ

北陸鉄工協同組合の大切な活動の一つは人材育成。そのために組合では『ほっとクラブ』という勉強会を開催しています。

『ほっとクラブ』では、参加された皆さんがグループワークなどで学び合うスタイルを取り入れ、いろいろな会社の皆さんが刺激を受け合う場になっています。

第61回（平成31年2月27日）

【ゲスト講師】(株) 鈴木精機 代表取締役社長 鈴木信孝 氏

平成30年度最終回となる第61回『ほっとクラブ』は、ゲスト講師に(株) 鈴木精機代表取締役社長の鈴木信孝氏をお迎えし、外国人材の受け入れの現場からのご報告をいただきました。

そのお話を受けて第2部として青年部の勇士3名によるパネルディスカッションを実施。「外国人材をいかに受容していくか」というテーマでそれぞれの企業の立場からご発言をいただきました。また第3部では、参加者全員でグループディスカッションが行われ、様々な立場からの情報と意見の交換がなされ、とても有意義な研修会になりました。



第62回（令和元年6月20日）

旭電機設備工業(株) 代表取締役社長 西 健一 氏
組立グループ 國本真生 氏
株明石合銅 専務取締役 明石隆史 氏
加工3課長 本多克友 氏

令和最初の第62回「ほっとクラブ」では、ここ数年、社会的に話題となっている「働き方改革」というテーマについて、中小企業の経営者とその従業員という異なる立場から、パネルディスカッション形式で意見交換をしていただきました。

今回パネリストとして意見交換をしていただいたのは旭電機設備工業(株)から西健一社長と女性社員の國本真生さん。さらに(株)明石合銅から明石隆史専務と現場リーダーの本多克友さんの、それぞれ経営者・従業員ペアです。当日はお互い異なる立場のディスカッションでしたが、かなり突っ込んだ本音(?)も飛び出し、会場は盛り上がっていました。



第63回（令和元年9月20日）

【ゲスト講師】

㈱梶製作所 加工生産事業部次長 安嶋 輝 氏
石川可鍛製鉄㈱ 製造部組長 杉村浩一 氏

昨年度、60回記念の特別企画として、組合員企業からリーダーとして活躍しておられる二人の方にお越しいただき、現場のリーダーならではの“生の声”をお届けしました。

その特別企画が大変好評でしたので、今年度も実施することになりました。

今回、第63回『ほっとクラブ』のゲスト講師としてご発表いただいたリーダーは、㈱梶製作所加工生産部次長の安嶋輝さん、石川可鍛製鉄㈱製造部組長の杉村浩一さんのお二人。

昨年度に続いて「現場の第一線のリーダーとしての役割」というテーマで、現場のリーダーとしての実践をお話いただきました。

現場で試行錯誤を重ねてこられたお二人のお話は、経営者の方にとっては自社の幹部を育成するうえでの参考になるものでした。また他社の現場のリーダーの皆さんにとっても、同じ立場での情報共有が図れましたし、若手社員の皆さんにとっても、リーダーの思いを知ることができる内容でした。安嶋さん、杉村さん、ありがとうございました！



第64回（令和元年11月20日）

【ゲスト講師】 ㈱サンエー精機 代表取締役 山本伊智郎 氏

第64回『ほっとクラブ』のゲスト講師は今年4月に新社長に就任したばかりの若手経営者、㈱サンエー精機代表取締役の山本伊智郎さん。当組合の前常務理事である山本利也前社長（現・会長）からバトンを渡され、今年4月に代表取締役に就任されたばかりのバリバリの若手経営者です。当日は承継をきっかけとした改善・改革～守っていくこと、そして新しく挑戦していくこと」というテーマでお話いただきました。

その後は恒例のグループディスカッション。事業承継等の会社にとっての大きな変革の時期に、その変革を従業員にどう浸透させていくか、また従業員としてはどう対応していくかについて、会社の枠を超えて活発な話し合いがなされました。



ほっとNEWS

R1年度 総会・懇親会



令和元年5月27日（月）

当組合の第70回通常総会が、金沢東急ホテルを会場に開催されました。

今回は当組合が金沢市昭和町に所有する土地について、平成7年以来23年間にわたって賃貸契約を結んでいたローソン昭和町店が閉店となり、その経過のご報告と今後の土地利用に関する提案をご審議いただきました。

そのあとは懇親会となりましたが、今回はこれまでも増して青年部の皆さんの参加が多く、若い皆さんの元気があふれる懇親会となりました。

小林理事長が中小企業庁長官表彰受賞



令和元年11月26日（火）

中小企業等協同組合法施行70周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行60周年の記念式典が東京で開催され、協同組合の発展に寄与した功労者として、当組合の小林靖典理事長が「中小企業庁長官表彰」を受賞されました。

小林理事長は平成7年に組合監事に就任されて以来、平成19年には理事、同22年には常務理事、さらに平成29年からは理事長として、24年の長きにわたって当組合を支えてきてくださいました。

小林理事長には改めて御礼とお祝いを申し上げます。また今後とも北陸鉄工協同組合をよろしくお願いいたします。

企業見学会

令和元年 10月16日(水)

当組合恒例の研修行事である工場見学会。今年は白山市の(株)アクトリーとE I Z O(株)の2社を訪問させていただきました。

両社とも石川県を代表する成長企業ですが、アクトリー様ではとくに社内の先進的なオフィス環境の整備、またE I Z O様では徹底した品質保証について、ご説明をいただきました。当日は当組合の26名が参加。訪問した先では熱心に見学するとともに、その後の説明会でもさまざまな質問が出されていました。

そして終了後は懇親会が行われ、参加された皆さんは見学会での気づきを交換し合うなど、盛り上がった会になりました。



組合員訪問

北陸鉄工協同組合には現在、104社（ほかに賛助会員として高松機械工業株）の組合員企業があり、北陸のものづくりを支えるお仕事をしておられます。

その組合員企業の中から、今回は「第64回ほっとクラブ」でゲスト講師を務めていただいた㈱サンエー精機の山本伊智郎社長を訪問、インタビューをさせていただきましたのでご紹介します。



※かほく市遠塚の本社・第一工場

山本伊智郎社長へのインタビュー



（同社・社長室でのインタビュー）

平野：本日はどうぞよろしく申し上げます。
まず御社のお仕事についてご紹介いただけますか？

山本：当社はかほく市遠塚にある工作機械用付属品製造の企業で、射出成型機部品、高速モーターシャフト、工作機械の刃物台・スピンドル等を製作しています。

平野：サンエー精機に入社されてから、どのようなことに取り組んでこられましたか？

山本：私は2014年に当社に入社したのですが、まず2Sから始めて、生産管理システムを活用した業務改善に取り組んできました。そして現在は「社内マイスター制度」をつくらせて人事処遇をさらに改善することや、現在の人員の中で、5年をかけて生産能力を20%向上させようとする取り組みを行っています。

平野：4月に社長になられたばかりですが、「事業承継」にあたっては、どのようなことが大切だとお考えですか？

山本：まず、前任の社長が築き上げてきたことを振り返ることだと思います。どのようなチャンスを活かし、またどのようなピンチを乗り越えてきたのかをしっかりと理解したうえで、変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくために、会社をどのように変えていくべきかを考えていくことが大切だと思っています。

平野：本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。



山本社長に社屋・工場を案内していただきました。



【訪問先】株式会社サンエー精機 〒929-1173 かほく市遠塚口 27

山本社長へのインタビュー動画は、Youtube 上に「限定公開」としてアップしてあります。下記の URL からご覧いただけますので、ぜひどうぞ！

「山本伊智郎さんインタビュー」 <https://youtu.be/jxwUvFKM48I>

新年懇親会のご案内

令和2年新年懇親会を下記のとおり開催いたしますので多数のご参加をお待ちいたしております。

記



日 時： 令和2年1月20日（月）18：00～20：00

場 所： 金沢東急ホテル 5階ボールルーム

会 費： 1名 5,000円（当日ご持参下さい）

組合ページのご案内

北陸鉄工協同組合では、組合と組合員の皆様に関するホットな情報をホームページに随時掲載しています。写真もいっぱい掲載していますよ！ぜひ一度ご覧ください。

北陸鉄工協同組合

検索

～編集後記～

昨年2019年は、元号が「平成」から「令和」に代わり、天皇陛下の即位関連のお祝いムードの年でした。そして今年2020年は「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。きっと多くの感動とドラマが起こるとワクワクしています。

そんな今年の干支「子」年は、ねずみが子供をたくさん産む事から繁栄の象徴とされ、繁栄の年だそうです。組合員の皆さまにとっても、「繁栄の年」になるようお祈りしています。

また、お近くに来られたときは是非事務所にお立ち寄りください。そしてご意見ご要望など聞かせてください。お待ちしております。（小林）

今年もどうぞ
よろしくお願
い
いたします！



北陸鉄工協同組合

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目3番地

(石川県鉄工会館内)

TEL 076-267-1955 / FAX 076-267-0720

Mail hot@m2.spacelan.ne.jp